

シンポジウム 2

「食道良性疾患の最前線 診断から治療まで」

司会 飯島 克則（秋田大学消化器内科）

伊原 栄吉（国際医療福祉大学成田病院）

食道良性疾患は、胃食道逆流症、好酸球性食道炎、食道運動機能障害を中心に、近年大きな変革期を迎えている。高解像度マノメトリーやインピーダンス・pH 検査、さらに EPSIS の登場により診断は飛躍的に進化した。一方、治療においても POEM や ARMS/ESD-G をはじめとする Endoscopic anti-reflux therapy の発展により新たな時代が切り拓かれている。本セッションでは、診断から治療まで最前線の知見を集結し、次世代の食道診療を展望する。